

コールドプロセス製法とは？

火を使わず、人にも地球にもやさしい製法

生の油から火を使わず油そのものと苛性ソーダの化学反応熱だけで石鹸にしてゆきます。

原料の油に含まれるグリセリン(保湿成分)などの栄養分を豊富に残した贅沢な石鹸に仕上がります。

石鹸反応時には火を使わず石鹸の反応熱でじっくり造ります。

火を使わないので二酸化炭素の排出をしない製法。

厳選した原料を使用することで、原料が持っている自然なままの保湿成分が丸ごと石鹸になっています。

製造工程

1 原料の計量

まず最初に使用する油や苛性ソーダ、配合物などの原料をレシピ通り0.01gまできちんと量り用意します。



2 温度調節

苛性ソーダを水に溶かしてゆき、同時に油の温度を上げてゆきます。共に適温になるよう調節してゆきます。



3 攪拌開始

原料油に苛性ソーダを入れ、攪拌機(かくはんき)で混ぜ込んでゆきます。配合物の配合するタイミングがそれぞれ違うため、注意深く適時に配合してゆきます。



4 型入れ

一晩寝かした出来たての熱い液体の石鹸を木型に濾しながら移し、自然冷却させてゆきます。季節にもよりますが、約2日で木型に移した石鹸が固化し、大きな直方体のブロックが出来ます。



5 石鹸カット その1

固化した石鹸を台に乗せてカットしてゆきます。出来上がりサイズに合わせて棒状にします。



6 乾燥過程 その1

棒状にカットした石鹸をいったんパレットに入れて乾燥させてゆきます。



7 乾燥過程 その2

棒状で乾燥した石鹼をサイズに合わせてカットし、さらに1ヶ月~1ヵ月半、自然乾燥させます。

8 石鹼カット その2

最終サイズにカットしてゆきます。



9 包装作業

何度も繰り返し検品をしながら1つ1つ手作業で包装し、完成!

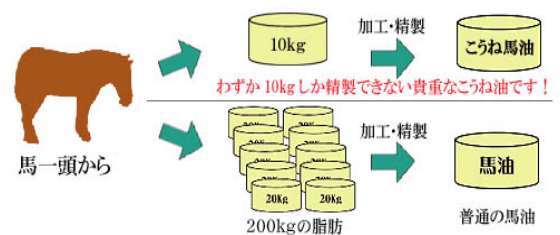
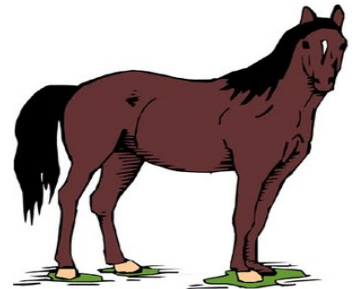


コールドプロセス製法

手間と時間を惜しまない本格製法

上記のように、古来石鹼製造は手間と時間を惜しまない、環境と人に優しい石鹼作りです。アルカリに弱い方以外は多くのトラブル(アレルギー・乾燥・ニキビ・かゆみ等)のお客様に支持されて

いる石鹼です。さまざまなトラブルの方は一度、コールドプロセス製法の馬油石鹼100%をお試し下さいませ。石鹼作り



に欠かせない油脂の中でも、馬油の石鹼は他の油脂より浸透力と脂肪酸の構成比率が人間と非常になじみやすい比率になっている石鹼です。

脂肪酸の構成比率

	皮膚 (細胞間脂質)	馬油	植物油	牛油
飽和脂肪酸	4	4	2	7
不飽和脂肪酸	6	6	8	3

馬油はなぜ皮膚や体に良いのか？

1 馬油は、中国では4,000年も前から愛用されてきました。

不飽和脂肪酸を多く含む馬油は、中国では古くから外用薬として広く使われてきました。

2 ニキビや肌荒れ、シミ、ソバカスでお悩みの方に。

みずみずしいお肌と、潤いを保つパルミトオレイン酸が深く浸透して、お肌をいつまでも若々しく守ります。

現代科学でも及ばないほどの素晴らしいと絶賛される特性を備えた馬油は、約4,000年前から愛用されてきました。馬の油には、必須脂肪酸とよばれる皮膚の角質層をみずみずしく保つ不飽和脂肪酸(パルミトオレイン酸、リノール酸)が多量に含まれており、顔はもちろん手足等の皮膚の荒れを防ぐことが中国の史記にもしてされています。

お肌に優しい馬油せっけん
中国ではすでに4,000年前、日本では
400年前から証明されています。

※この石鹸には、香料は一切使用しておりません。かすかに匂いがありますが、これは原料の自然な香です。使用後には残香することはありません。化粧アレルギーの原因は、製品に含まれる香料が肌に合わないことが多いようです。

Q 赤ちゃんの入浴に使いたいのですが平気ですか？

A この石鹸は、防腐剤や殺菌剤などの指定成分を、一切使用していない無添加石鹸です。ですから、肌が敏感で柔らかな赤ちゃんにも安心してお使いください。また、柔らかな泡ですので、刺激が少なく肌触りもマイルドです。

Q 肌の乾燥で悩んでいます。石鹸洗顔でも大丈夫ですか？

A 肌の乾燥は角質層の水分が不足することによって起こります。洗顔する際に、皮膚表面の水分とついでに皮膚細胞の中の水分まで揮発することによって、角質層の水分が不足してしまうのです。この石鹸に含まれる馬油は、肌への浸透力が早く、細胞内の水分が逃げないようにする働き(モイスチャーブロック)があるので洗顔後のつっぱりがなく乾燥を防いでくれます。

Q ニキビ肌です。使っても平気ですか？

A ニキビは、角質が肥厚して毛孔に脂肪が詰まるのが原因となっています。ニキビ肌の方の洗顔、洗浄のポイントは、肌に刺激のない洗顔料でよく洗顔し、肌を清潔に整える事が大切です。この石鹸に含まれる馬油には、新陳代謝を促し、皮膚細胞を活性化させる働きがあるので、肥厚した角質を早く落としてくれます。

釜焚きけん化法

大量生産の無添加石鹼や石鹼素地に使用される方法です。パフォーマンスとして良く製造者が石鹼の製造途中で石鹼を食べる事でいかにも良い石鹼のイメージになっています。油と苛性ソーダを合わせ高温で過熱・攪乱させ、けん化させます。けん化反応がすんだ石鹼に、「塩析」という方法を施すため、塩を加え加熱しグリセリンやその他の不鹼化物を取り除きます。この方法は無添加石けんの大量生産に向いていて、「純石けん98%」という表示になります。消費者には石鹼素地等その他は有効成分しか記載されていない為、非常に良い石鹼のイメージになっております。利点は溶け崩れの少ない固い石けんができ、外見が綺麗で見た目が良い石鹼ができる事です。大量生産の石鹼作りには向いています。しかし、問題は油を高温で加熱することにより、油を酸化させ、塩析を加えることによって必要以上のグリセリンやビタミン・ミネラルなどの不鹼化物が取り除かれてしまうという欠点があり、また、不鹼化物が取り除かれる事により、保湿力と洗い上がりが悪くなるので、新しい保湿成分(グリセリン・塩・グラニュー糖・アルコール等を添加する必要性がある為、本来のコールドプロセス製法の石鹼ではグリセリンがしっかり残り、必要以上の皮脂を取り除きませんので油脂本来の石鹼ができます。